

平成 24 年度 教育学部学生モニター会議

参加者：三浦学部長，佐野副学部長（広報委員長代理兼），山本教育コーディネータ委員長，佐藤教務委員長，浅井総務委員長，石井学生就職委員長，藤原入試委員長，日野実習カリキュラム委員長（代理），田中安全衛生管理者，中宇禰事務課長，竹内副課長，河野 TL，神野 TL

司 会：露口教員

記 録：秋山，加藤，森，吉村教員

在学生代表：25 名（名称略）

以下敬称略

1 . 学部長挨拶（副学部長）

この学生会議は毎年開催している。学生の要望を出してもらい、その要望に応じて、大学生活をよりよくしていこうという取り組みである。日頃の率直な声を聞かせて欲しい。

ただし、率直な意見で大変ありがたいのだが、何でも言いたいことを言えばよいというものでもない。根拠のある発言をしてほしい。また、発言したことについては責任をもってほしい。なぜこのようなことを言うかと言うと、この会議を通して、学部改善をしていくことが本会議のねらいだからだ。無理難題を言うのではなく、建設的な意見を言って欲しい。

2 . 昨年度の意見に対する本年度の取り組み（教務委員長）

昨年度の記録から、その場で回答できたものと後日回答をするものがある。昨年度リフレクションデイ・ポートフォリオの話があった。リフレクションデイが長いということがあったが今年度は2時間短くなった。履修カルテが必要であるからちゃんとやってほしい。バイクについては立体駐車場ができた。許可制になっている。詳しいことは後で事務課長から補足説明がある。また、Wi-Fi 環境も改善されるであろう。

3 . 学生からの意見

(1) カリキュラム・授業内容・授業方法について

●教育学専修

共通教育が楽しかった。他学科・他学部の学生と交流できた経験が大きい。2・3 回生でも、同様の授業があればよい。自分も積極的参加したい。

○佐藤：共通教育の改革はなされている。討議型の授業が開設されつつあるが、その中で対応可能か？ 3,4回生となるとどう対応出来るかは分からない。

○山本：自由選択カテゴリーがあるので、それを利用して自分で授業を選択してみるのもよい。

○日野：教職課題特講Ⅲについては、他学部の学生もたくさん受けている。

●国語専修

毎学期ごとの授業の評価をもう少し早くもらいたい。成績開示を早くしてほしい。

○山本：毎年出てくる要望である。早く知りたい人に対して、合否程度であれば前もって知らせることもしている。どうしても知りたければ、担当の先生を訪ねていけばよいのでは？

●聴覚言語

リフレクションログについて、いったん紙媒体に書いて提出したものを改めてウェブ入力するのは何故か？

○吉村：リフレクションデイは自己省察が目的。ウェブ上の作業では現状、フィードバックが出来ない状況であるのも要因である。

●聴覚言語

発達障害の方には「ふれあい実習」(のようなもの)があるが、聴覚言語には該当する活動はあるのか？

○院特支：FICを利用するのがよい。自分はそうした。

●幼年：プレ実習の振りかえりの時、2回生実施日に、まだ、3回生は実習中であり、3回生は参加できなかった。どうしてか？

○日野：3回生との合同授業が昨年まであったが、今年度は発展的に解消した。

(2) 教員採用・一般試験について

●国語：就職するための情報が少ない，セミナーがあったが自己分析などの内容が少なく不安になる。

○石井：情報が少ないとはどういうことか。愛媛大学では多くの情報があり，常に掲示をしている。セミナーの回数が少ないのか，何の情報か？ その内容が知りたい。

○露口：教員委員採用に比べての情報が少ないのか？ 就職活動をしている学生さんの意見はどうか？

○人社デザ：情報が少ないとは思ったことはない。

○スポキャリ：そんなことを思ったことはない。

●保体：教採について他県の過去問についての情報がほしい。

○石井：他大学に負けないくらいの情報があり，充実している。ぜひとも、教職支援ルームに行ってほしい。ぜひ利用してほしい。

●スポ指導：教員採用の面接・討論の時間を増やしてほしい。

○日野：教職教養課題特講Ⅲで行っている。学部教育として行っているため、面接対策を前面には出していない。退職した校長にも塾等を開催していただいている。もう少し情報を得て積極的に参加してほしい。

○露口：学生らが自主的に面接対策の勉強グループを編成している。それに積極的に加わって欲しい。

●院理：実験授業について本来は2名なのだが，1名しか担当していない。なぜこのようなカリキュラムになっているのか？

○佐野：理科講座の中で検討し，前向きに対処する。

(3) 学習環境について

●国語：合同研究室について，スペースが狭い。50数名で一つしかない。隣が英語の合研で，仕切りがロッカーであり，声がひそひそになる。もう少しなんとかならないか。また，網戸をつけて欲しい。

○浅井：学生の数と部屋の大きさに矛盾があるのは認識している。すぐに手を付けられな

いのは改組という問題が絡んでいる。今すぐには解決できない。要求は承っておく。網戸に関して経費がかかる。

●特支：発達研究室は引き戸になったが、聴言はなっていないので、引き戸にしてほしい。また、聴覚障害を持つ学生に対して、緊急事態用のランプを設置してはいかがか？

○三浦：教室からの要望で工事を行った。聴言のほうは要求がなかった。

○中宇禰：消防法等の規定等をにらんで改修を進めていく。

●保体：授業と授業の休み時間が変わると聞いたが？

○佐藤：これまで教育学部だけ他学部と異なっている。来年度から休み時間を20分にした。全学的に統一することになった。就学支援システムに既に掲載されている。

●特支：4号館3階音声分析実験室の防音について何とかならないか？

○浅井：なかなか防音について対処は難しい。理想は1階であるが。今後も検討を続けていきたい。

●院特支：特別支援の研究室にパソコンがない。1台くらいおいてほしい。

○三浦：設置は各教室の先生方の配慮による。自分たちの先生方に要望してみしてほしい。

●院保体：入試の時に入棟できない。その情報を早く知る手段がほしい。

○藤原：今は掲示だけである。これから、修学支援システムの活用を含めて検討する。

(4) その他

●理科：バイクの駐輪について2.5k m以上ないと許可が下りないのはなぜか？

○中宇禰：全体でも正確な説明はない。我慢してほしい。

○理科：授業後のバイトや休日への行く場合に使うこともあるが…。

○中宇禰：バイクを置く台数が限られている。

○佐藤：中学生は自宅からの距離が 2km 未満の生徒は徒歩である。

●数学：駐車，駐輪に届け出が必要だが，土日の利用も改めて必要か？

○中宇禰：改めて届け出る必要はない。

●特支：学生支援課の前に輪転機があるが，17 時ごろに止められる。もう少し長くないか。

○河野：サークル用だと思う。

○露口：学生支援課のご担当者の方に，本件を伝えて下さい。

●スポ指導：体育館前の駐輪場に屋根を設置してほしい。傘を窃盗されるので何とか対処してほしい。

○三浦：駐輪場の屋根は全学でも検討はしている。すぐには無理である。傘の窃盗については難しい。

●人間デザ：教授－学習心理学が必修になっていることの意味が分からない。

○佐藤：古いカリキュラムの名残であり，元々はうまく対応していたものが，その後の変更によりしっくり対応しなくなっているという事情がある。カリキュラム改訂は既になされている。適用されるのは，平成 25 年度入学生からである。

●中高の免許状取得について，新課程の方は対応した授業があるが，学校教員養成課程の学生にとっては免許に使用できないがどういった理由によるのか？

○三浦：課程認定の際の登録が重要。個別の件については，各専修，コースで対応すべきことである。

(文責 露口健司)